

サニナビ

北九州



北九州市保健所
東部生活衛生課
広域食品指導係 94-9
小倉北区西港町
TEL 093-583-2048
FAX 093-583-2044

異物混入対策について

異物には様々な種類があり軟質性異物と硬質性異物に分けられます。

軟質性異物には紙・糸・布、ビニール虫、毛髪等があります。直接的に身体的な健康障害を与えるものではありませんが、不快な印象を持ち嫌悪感などから、その後気分が悪くなったり、その食品が食べられなくなるという精神的な健康被害に発展することもあります。

一方で硬質性異物には石・砂、木片、刃物、ホチキスの針等がありますが、歯を折ったり、口内を切るなどの口腔内損傷を引き起こしたり、さらに飲み込むことによって胃や腸に傷をつけたり、腸壁に刺さって手術する事態になることもあります。

異物の種類は多岐に渡るため、対策も異物によって様々です。今回はその中の一部の事例と対策を紹介します。

☆弁当にカエル

平成30年5月、熊本市の業者が客へ宅配した弁当に、カエルの死骸が混入していたという事案が発生しました。業者による調査の結果、



産地から届けられた葉物野菜にもともと付着していた異物(カエル)を、加工の各

過程で除去しきれなかったことが原因である可能性が高いと考えられました。生産の段階で付着・混入した昆虫などが原因の異物混入事例も多く報告されています。

流通・加工段階での目視確認も重要な衛生管理ポイントとなります。また、原料由来の異物が多い場合は仕入れ先の見直しも必要です。

☆ツナ缶にゴキブリ

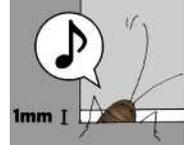
スーパーで買ったツナ缶を50代女性が開けたところ、手足の切断されていないゴキブリが混入していました。ゴキブリが加熱されたものかどうかを判定する「カタラ



ーゼ酵素活性テスト」を行ったところ、加熱されたものであるという結果が出ました。この結果から混入は、工場内の製造過程で起きたと判断されました。ツナの肉を入れる缶は、洗って製造のラインに置きま

す。従業員がお昼休みにラインを止めて外に出ますが、この間にゴキブリが缶の中に入り、そのまま気づかずラインを再開したため、混入したものと考えられています。今回の事例は手足の切断されていないゴキブリでしたが、中には食品にゴキブリの脚だけが混入していたというケースもあります。

外部侵入型の昆虫の対策としては、施設の出入り口や窓はなるべく閉めて、外部に通じる箇所には網戸や防虫カーテンを設置し、隙間をふさぐようにしましょう。また、ダンボールなどの運搬容器は調理室へ持ち込まないようにはしましょう。



☆ポテトチップスにガラス

スナック菓子にガラスが混入した事例です。蛍光灯の保護カバーの一部が破損し混入しました。高校生が購入し、ガラス片(5ミリ四方)で口の中を切るケガをしたと、母親から製造会社へ電話があり発覚しました。

蛍光灯や捕虫機は飛散防止型の物が良いです。ライン上に蛍光灯、捕虫機を設置しない、蛍光灯、捕虫機下で作業をしないようにしましょう。生産設備、使用する備品は始業、

終業点検を行い、点検記録を残しましょう。備品は定位置・定数管理をしましょう。分解するものは本数管理が必要です。



☆人由来の異物

人由来の異物としては、毛髪・爪・絆創膏等があります。

人由来の異物混入を防ぐ方法としては、白衣・帽子・マスクを着用する、持ち込み禁止物を持ち込まない等の決められたルールを守ることが大切です。高い意衛生管理の基本は全員参加です。

識を持った人が何人いても、ひとりでも欠けていると、衛生レベルが下がります。全員が実施することが大切です。

【海外】ナメクジ食ハ男性死亡

オーストラリアに住む男性が、ナメクジ(未加熱を食べて、8年間の闘病生活を送った後、今年の11月2日に亡くなる事案がありました。

現地メディアによると、ナメクジを食べた後、足に激しい痛みとともに体に力が入らなくなったため病院に行くと、ナメクジに寄生していた「広東住血線虫」が原因と診断されたということです。

広東住血線虫はナメクジの他にカタツムリやカエルに寄生しているといわれています。人間に寄生した場合、好酸球性髄膜炎を引き起こす危険があり、場合によっては死に至ります。国内でも発症例が報告されています。身体に触れたり、這った跡に触れたりしてもこの寄生虫に寄生される危険があるとされています。

生のナメクジやカタツムリを食べないのももちろんのことですが、生野菜を食べる時も、畑でナメクジなどと接触していることがあるため、十分に洗うことが大切です。

編集後記

11月になり、より一層寒さが増してきました。手洗いが億劫になる季節ですが、寒さに負けず、手洗いをしっかり行いましょう。

今月の写真は、「ブレイリードッグ」です。